

授業科目名・形態	助産診断・技術学Ⅳ	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	工藤 優子	開講期	4年前期	単位数	1

### 【授業の主題】

生理的現象である分娩を介助することは、母児の安全を保障すると同時に産婦が自らのすばらしい潜在能力に気づき、分娩に対する満足度が高くなるように支援していくことである。このことは、直接的に次世代の育成につながる重要な意味を持つ。分娩介助にあたり、生命に対する畏敬の念と、責任の重さを忘れずに母児の安全のために常に最善の支援技術が提供できるように準備しておく必要がある。本科目では臨地実習に向けて、出生を介助する援助技術を学び、分娩介助技術の基本と出生直後の新生児のケアの基礎的な知識と技術を習得する。

### 【到達目標】

1. 正常分娩介助法の基礎的な知識と技術を習得することができる。
2. 新生児に対して出生時の蘇生アルゴリズムに即したケアを習得することができる。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 分娩介助の意義・原理、正常分娩介助法の原理
- 第2回 正常分娩介助法①
- 第3回 正常分娩介助法②
- 第4回 正常分娩介助法③
- 第5回 正常分娩介助法④
- 第6回 正常分娩介助法⑤
- 第7回 フリースタイル分娩介助法①
- 第8回 フリースタイル分娩介助法②
- 第9回 出生直後の新生児のアセスメントとケア①
- 第10回 出生直後の新生児のアセスメントとケア②
- 第11回 新生児の異常
- 第12回 新生児の蘇生法
- 第13回 分娩第4期分娩後の異常への対処
- 第14回 胎児付属物
- 第15回 会陰裂傷縫合

### 【授業準備】

これまでの学習および教科書・資料・参考文献を復習し、常に知識・技術を活用できるように予習して臨むこと。

### 【主な関連する科目】

基礎助産学、助産診断・技術学Ⅰ、助産診断・技術学Ⅱ、助産診断・技術学Ⅲ

### 【教科書等】

助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期、医学書院

助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ[3]分娩期・産褥期、医学書院

### 【参考文献】

竹内 省、高橋真理子編集：分娩のしくみと介助法 メジカルビュー社

井上裕美他監修：病気がみえる産科 MEDIC MEDIA

北川真理子、内山和美編：今日の助産改訂第3版 南江堂

武谷雄二他監修：プリンシプル産婦人科学2産科編第3版 MEDICAL VIEW その他は授業の中で適宜提示する。

### 【成績評価方法】

筆記試験 40%、演習 40%、授業への取組み姿勢等 20%とし総合的に評価する。

### 【学生へのメッセージ】

臨地実習で適用可能な段階まで、知識・技術の習得が必要になります。助産技術習得のために必要な知識と技術ですので、積極的な自己学習の積み重ねを大切にしましょう。